

JSMA

一般社団法人 日本サッシ協会のご紹介

2025年7月30日

報告者：一般社団法人 日本サッシ協会
住宅サッシ部長 大野 真

1. 団体の活動紹介

目的

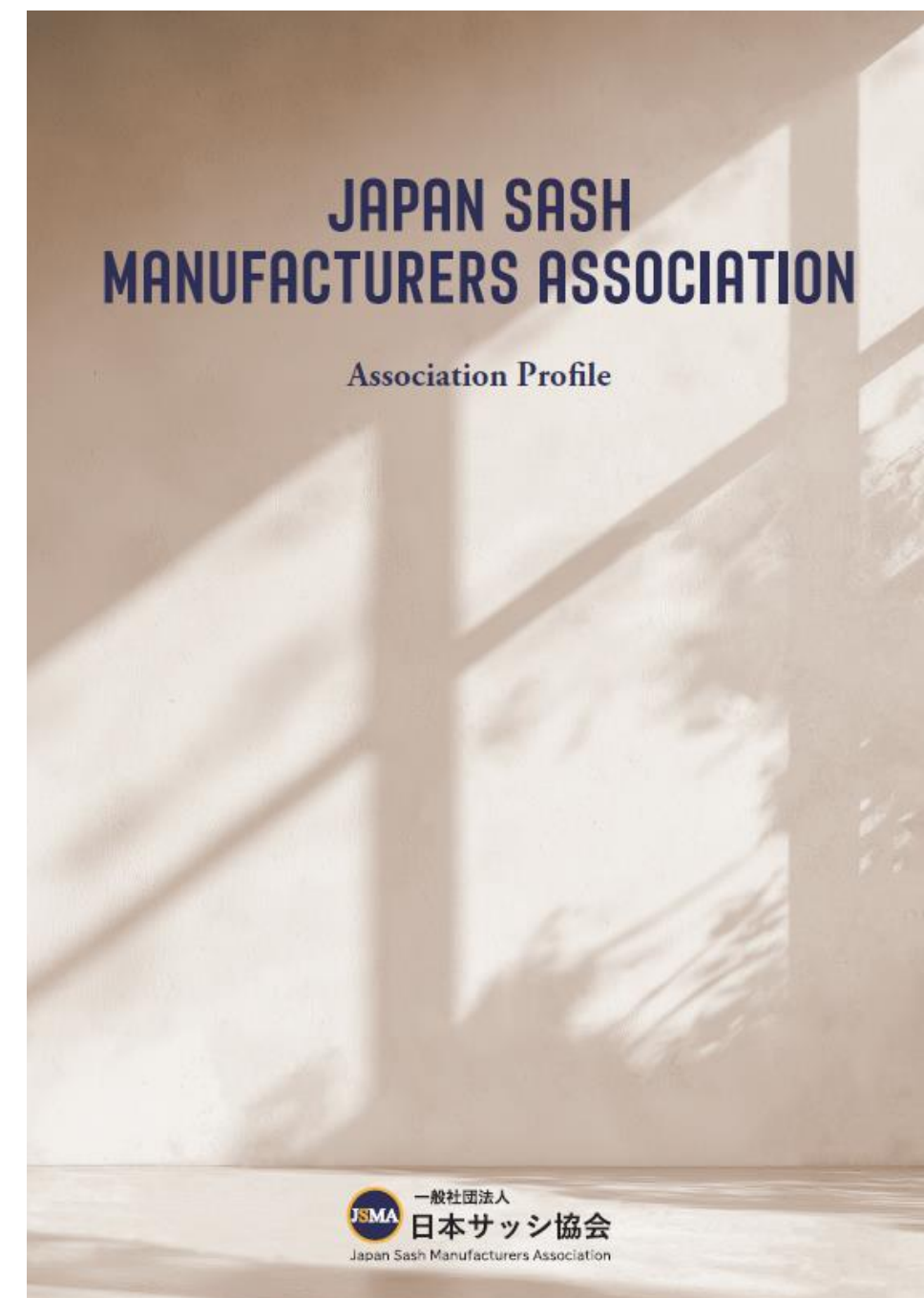
当協会は、サッシ、ドア、シャッターその他の開口部用建材及びエクステリアに関する性能、仕様の普及啓発、開口部用建材等の技術、品質及び規格に関する調査研究等を行うことにより、開口部用建材等の製造業及びそれらの関連業の健全な発展を図り、もって国民の住環境の向上に貢献することを目的としています。

事業概要

1947(昭和22)年に任意団体として発足した当協会は、1954(昭和29)年に当時の通産大臣認可を取得して、社団法人日本サッシ協会として設立いたしました。

当時のサッシは木製やスチール製が主流でしたが、その後アルミサッシが取って代わり、最近ではアルミ樹脂複合サッシや樹脂サッシへと変遷を経てまいりました。その背景には、社会のニーズと密接に関係しており、近年のSDGsやカーボンニュートラルの達成に向けて、開口部建材に断熱化や省エネ化という大変重要な役割が期待されております。

当協会では、その時代に即したかたちで、開口部建材に関する性能、仕様の普及啓発、技術・品質及び規格に関する調査研究などを行うことにより、開口部建材製造業・流通業及び関連業の健全な発展、ひいては国民の住環境の向上に貢献する団体として活動を展開しています。



事業活動

1. 省エネ、防災、防犯、防火等、各種性能・仕様の普及啓発
2. 人材育成（積算資格認定制度、基幹技能者制度の運営、等）
3. 国際標準化への対応（ISO/TC162国際会議の運営や維持管理）
4. 中小企業の活性化（支部活動の推進や研修会の開催）
5. 流通店の事業基盤強化（セミナーの開催や各種情報の提供）
6. 業界における構造改善の推進（契約締結の適正化・標準化）
7. 業界動向に関する調査と分析（使用状況調査の実施）
8. 環境に配慮した活動（リサイクル推進や有害物質排出の削減）

1. 団体の活動紹介

沿革

経済産業省 管轄団体

- 1947(昭和22)年 ● 任意団体 日本サッシ協会発足
- 1954(昭和29)年 ● 通産大臣の認可を得て、社団法人日本サッシ協会設立
- 1959(昭和34)年 ● 社団法人日本サッシ協会に改称
- 1961(昭和36)年 ● 建設業法第27条33により、建設大臣あて「建設業者団体届」提出
- 1979(昭和54)年 ● 「サッシ施工技能検定試験」開始(労働省職業能力開発法) ISO/TC162国内委員会の設立
- 1985(昭和60)年 ● 「アルミニウム・サッシドア通則認定化委員会」を日本カーテンウォール工業会と協同発足
- 1986(昭和61)年 ● 「施工管理者安全推進大会」第1回開催
- 1989(昭和64)年 ● AAMA(米国建材製造家協会)と協力合意書に署名
- 1991(平成3)年 ● FAECF(欧州サッシ協会連合会)と友好関係締結、覚書に調印
- 1993(平成5)年 ● 「サッシ・カーテンウォール施工管理士」第1回試験実施
- 1994(平成6)年 ● 協会設立40周年を記念して「サッシ産業のあゆみ」編纂
- 1995(平成7)年 ● 通産省通達に基づき、「ビル用サッシ・ドアの取引慣行改善」の取り組み開始
- 1996(平成8)年 ● ISO/TC162東京国際会議開催
- 2000(平成12)年 ● 「積算資格認定試験」第1回実施、基幹技能者認定制度発足
- 2003(平成15)年 ● 官民合同会議「防犯性能の高い建物部品の開発・普及の今後の在り方」に参画 住宅サッシ「新寸法体系」導入
- 2004(平成16)年 ● ISO/TC162国際幹事業務を開始
- 2008(平成20)年 ● 「基幹技能者講習実施機関」として国交省に登録 「サッシ・ドアの製品安全自主行動計画」を策定
- 2009(平成21)年 ● 「住宅エコポイント制度」への参画と推進 住宅建材流通店を対象とした「新事業所登録制度」を発足
- 2012(平成24)年 ● 一般社団法人に移行
- 2014(平成26)年 ● サッシ協会設立60周年表彰式開催、記念誌発行 「建材トップランナー制度」策定に参画
- 2016(平成28)年 ● 省エネ基準適合義務化および住宅ストック循環支援事業に対応
- 2017(平成29)年 ● ISO/TC162ベルリン国際会議主催
- 2018(平成30)年 ● 「製品安全対策優良企業表彰(PSアワード2018)特別賞」を受賞
- 2022(令和4)年 ● 「令和4年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」を受賞
- 2023(令和5)年 ● 「窓の性能表示制度」の見直しへの参画とガイドラインの作成 流通会員制度を発足
- 2024(令和6)年 ● 「樹脂窓リサイクルビジョン」を策定

事業運営組織



会員種別・会員数

正会員	開口部用建材の製造および販売業会員	82社
一種準会員	開口部用建材の製造および卸売業会員	5社
二種準会員	防火戸事業会員	18社
三種準会員	公建協・評価事業会員	22社
賛助会員	本会の目的に賛同し、事業に協力する会員	32社
流通幹事会員	開口部用建材の卸売業会員	104社

2025年5月現在

1. 団体の活動紹介

主な委員会のご紹介

住宅サッシ委員会



住宅企画部会

新築、リフォーム問わず住宅用サッシ、ドア業界の健全化と発展を目的に、流通店様を対象とした契約標準化の推進、国策に伴う補助金活用や法改正への対応を主体とし活動しています。

住宅技術部会

住宅用サッシ、ドアに関する分野の技術や基準の課題に対して、その方向性と課題解決のための技術討議および調査活動を通じて性能、仕様の普及啓発・情報の提供を推進しています。

住宅ブロック部会

住宅企画部会の指針を各ブロックに共有、契約標準化へ講習会の周知動員、補助金活用等国策の浸透、流通会員制度促進へブロックと連携、理解を深め市場での活動を加速する支援を実施しています。

プレハブ部会

大手ハウスメーカーの住宅市場の動向について共有を図り、今後のハウスメーカーの展開、方向性等を協議し各社共通課題解決の活動をしています。各部会の実施事項の情報共有・検討を行っています。

流通会員制度推進部会

流通店の経営や業務の課題に対し、メーカーと流通店が協働して解決に取り組みます。流通幹事会員と業界の改革に取り組み、流通情報会員と業界の基盤強化を図り、業界の発展に貢献します。

1. 団体の活動紹介

主な委員会のご紹介

ビルサッシ委員会

ビル企画部会

ビル用サッシの工事請負、物品販売における『契約適正化』を推進する活動を中心に、開口部用建材の仕様・性能普及啓発、現場での品質保持、建物管理者向け保守点検の普及促進活動を行っています。

積算部会

ビル用金属製建具・カーテンウォールを取り扱う会員社員様を対象に契約適正化を推進する人材育成方法の一つとして、毎年『積算資格認定試験』の実施とともに『積算マニュアル』の発行を行っています。

ビル技術部会

ビル用サッシの仕様・性能・基準等に関する技術的な課題に対応し、その方向性と課題解決にむけた行政・外部団体との協議を通じて、会員企業との情報共有を図っています。

施工管理部会

技能者人材育成と次世代の担い手確保に向け、登録基幹技能者認定事業や技能検定支援事業に取り組んでいます。また、災害未然防止として、安全推進大会を通じて情報発信・啓蒙活動をしています。

1. 団体の活動紹介

主な委員会のご紹介

技術委員会



製品規格部会

サッシ、ドア製品の品質向上、安全性確保を目的として、時代の変化に合わせた性能・品質等級の制定を図り、サッシ、ドアJIS製品規格の制定、改正ならびに維持管理に取り組んでいます。

技術情報部会

サッシ・ドアの参考書として、会員や建築業界の方々に幅広くご活用いただくことを目的として、サッシ、ドアのJIS製品・試験規格の解説書ならびに関連用語集の発行・配信と改訂に取り組んでいます。

国際標準化部会

サッシ協会が幹事国引受団体を務めるISO/TC162（ドア・窓及びカーテンウォール）に日本産業調査会（JISC）代表として参加し、ISO規格開発の制定、改正ならびに維持管理に取り組んでいます。

試験規格部会

サッシ、ドア製品の品質や性能、安全性を客観的に評価するため、時代の変化に合わせた新試験方法を開発し、サッシ、ドアJIS試験規格の制定、改正ならびに維持管理に取り組んでいます。

1. 団体の活動紹介

主な委員会のご紹介

防犯対策委員会

技術開発・審査部会

「防犯性能の高い建物部品（CP製品）」の防犯性能基準や仕様規定案を満たす製品審査を行っています。また、警視庁での防犯実務研修等に協力するなど官民連携した活動を推進しています。

普及促進部会

CP製品の普及啓発にむけて、「5団体防犯建物普及促進協議会」に加盟の関係省庁、建材関連団体ともに、防犯系展示会やメディア・業界紙を通した住宅防犯に関する普及促進を行っています。

中小企業委員会

スチールドア全国研修会WG

全国の鋼製建具関連事業者様に向けて機能の高度化・ニーズの多様性・環境の変化と相互性に対応できる様基礎から専門知識・法令対応等教育・レベルUPをWEB活用による研修会を開催しています。

1. 団体の活動紹介

日本サッシ協会の事業活動について 【技術委員会】

窓・ドアの基準づくりに取り組んでいます

日本サッシ協会はJIS規格の制定、改正に原案作成団体として関与しています。

これまでどんなJIS原案に関わったか、その制定手順とあわせて紹介します。

国家規格のひとつ「JIS」の制定、改正に関与しています

日本の産業製品に関する規格や測定法などが定められた国家規格「JIS規格」の原案作成に日本サッシ協会は取り組んできました。

日本サッシ協会がJIS原案を作成したJIS規格により、

窓やドアなど開口部の製品の規格が規定されます。なかには建具やドアセットなどの試験方法なども含まれ、JIS規格が製品の性能を客観的に判断する基準になっています。さらなる業界の発展のため、今後も取り組んでまいります。

日本サッシ協会が原案を作成し、2024年に制定されたJIS規格

➡ 住宅用窓シャッター (JIS A 4717) の概要

住宅用窓シャッターに要求される基本性能項目及びそれらの試験方法を規定。

1 耐風圧性 (7等級に等級分け)

一定圧力を加えた後、シャッターの開閉などに支障が生じない性能。

2 開閉性

手動式の場合、開閉にあまりに大きな力を必要としないこと。

3 開閉繰返し性

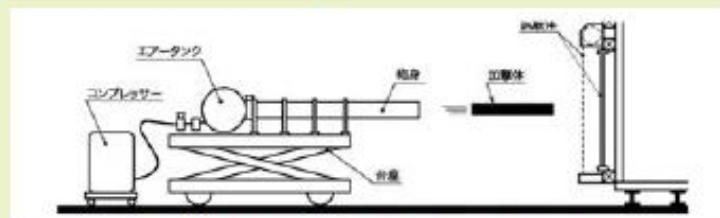
シャッターを毎日2回、約10年使用した場合に相当する回数の開閉を行っても正常に動作すること。

4 障害物感知装置の作動性

シャッターを閉める際に障害物があった場合、停止または反転上昇すること。

5 耐飛来物衝撃性

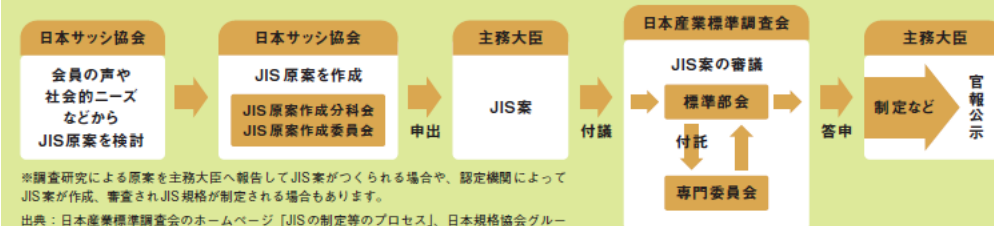
シャッターに飛来物が衝突した際の耐久性能。衝突させる加撃体の質量や衝突速度に応じ、4等級に等級分け。



耐飛来物衝突性試験装置の例 (JIS A 4717)

JIS規格ができるまで

JIS規格は、日本サッシ協会のような原案作成団体が原案を検討することからはじまります。日本サッシ協会では、などから原案を作成し、主務大臣である経済産業大臣へ申出。大臣から付議された日本産業標準調査会が標準部会と流通店やメーカーなど協会会員の皆様の声や社会的ニーズ 専門委員会で審議を行って大臣に答申し、制定されます。



※調査研究による原案を主務大臣へ報告してJIS案がつくられる場合や、認定機関によってJIS案が作成、審査されJIS規格が制定される場合もあります。

出典：日本産業標準調査会のホームページ「JISの制定等のプロセス」、日本規格協会グループのホームページ「JISとは」より作成

1. 団体の活動紹介

日本サッシ協会の事業活動について 【住宅サッシ委員会】

物流危機回避のための啓発チラシを発行しました

今、物流業界の人材不足による輸送能力の不足が懸念されています。
この問題が拡大しないために流通店の皆様向けの啓発チラシを発行しました。

物流の納品条件適正化にご協力を

近年、トラックドライバーの時間外労働が問題になっており、改正貨物自動車運送事業法によって時間外労働の上限が設けられることになりました。この働き方の改善は、物流が持続可能な成長をするためには不可欠です。しかし今、「物流の2024年問題」と呼ばれる輸送能力の不足が懸念されています。

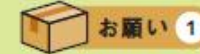
日本サッシ協会はこれらの課題へ応えるために、経済産業省と国土交通省が事務局の「フィジカルインターネット実現会議 建材・住宅設備WG」や、日本建材・住宅設備産業協会など業界団体とともに、「建材・設備物流における納品条件適正化に向けたガイドライン」を作成し、普及に努めてきました。今回、ガイドラインに基づく啓発チラシを制作・発行しましたので、ぜひご活用ください。

労働時間のルール「改善基準告示」 厚生労働大臣が定めた基準です

拘束時間 始業から 終業までの時間	1日 原則13時間以内、最大15時間以内 宿泊を伴う長距離運行は週2回まで15時間 (14時間超は1週間2回以内) 1カ月 原則284時間以内
休憩時間 勤務と次の勤務の間の 自由な時間	継続11時間以上を基本とし、 継続9時間以上
運転時間	2日平均で、1日あたり9時間以内 2週間平均で、1週間あたり44時間以内
連続運転時間	4時間以内

トラック運送事業者はトラックドライバーに
労働時間のルールを守らせる必要があり、
違反した場合は処分を受けることになります

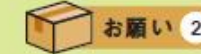
物流の効率化のための4つのお願い



お願い 1

着荷主様による荷受け作業

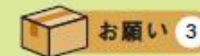
ドライバーが搬入や仕分け作業を行うことで、配送以外の負担が発生します。荷渡しは車上渡しを基本とし、軒先渡しの場合は「指定場所1カ所降ろし」としましょう。倉庫渡しなど搬入作業がある場合は、費用の適正化にご協力ください



お願い 2

着時間幅の確保

着時間をピンポイントで指定すると、別の配送先との重複などにより配送車両が複数必要になってしまいます。着時間に余裕をもたせることで混雑輸送を増やしてより効率的に配送できるので、1日フリー配送にご協力をお願いします



お願い 3

納入先の情報の精度向上

現場へ配送する場合、納入先の情報（荷受け人の住所やお名前、連絡先など）があやふやだと、現場での待機や持ち帰り、再配送などが発生してしまいます。納入先の情報の精度を高めて、スムーズな荷渡しへのご協力をお願いします



お願い 4

適正な運賃・料金のご負担

配送用トラックとドライバーの効率化を実現できても、適正な取引ができていなければ、物流の持続可能な成長は望めません。安定配送を維持するため、適正な運賃・付帯作業の料金負担についてご理解とご協力をお願いします

啓発チラシは
ホームページで公開中



このほかにも物流の効率化に必須の情報を詰め込んだ啓発チラシを公開しています。ぜひご活用ください



1. 団体の活動紹介

日本サッシ協会の事業活動について 【住宅サッシ委員会 講習会・CS管理部会 セミナー】

住宅サッシの契約標準化講習会

住宅サッシの契約標準化講習会を、1月17日～3月13日に全国12会場で開催しました。今年度は全会場リアルで開催し、講師と参加者、参加者同士が対話する機会を設ける研修内容にリニューアルしました。アンケートでは約9割の方に満足と回答していただきました。実際の現場を想定し諸経費がいくらかかるのかを計算するワークと参加同士の対話が高い評価をいただきました。



全国12カ所で開催!!

- | | |
|----------------|--------------------------|
| ① 北海道ブロック 旭川会場 | 旭川市大雪クリスタルホール 旭川市国際会議場 |
| ② 北海道ブロック 札幌会場 | TKPガーデンシティ札幌駅前 カンファレンス2E |
| ③ 東北ブロック 青森会場 | 八戸商工会議所 |
| ④ 東北ブロック 宮城会場 | 仙都会館 |
| ⑤ 関東ブロック 茨城会場 | ザ・ヒロサワ・シティ会館 |
| ⑥ 首都圏ブロック 東京会場 | 国立オリンピック記念青少年総合センター |
| ⑦ 関東ブロック 長野会場 | サンプロ アルウィン |
| ⑧ 東海ブロック 静岡会場 | 静岡県産業経済会館 |
| ⑨ 東海ブロック 愛知会場 | ウイंकあいち(愛知県産業労働センター) |
| ⑩ 関西ブロック 大阪会場 | 鉄鋼会館 |
| ⑪ 九州ブロック 福岡会場 | JR博多シティ |
| ⑫ 九州ブロック 鹿児島会場 | 鹿児島県文化センター 宝山ホール |

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 2/29 旭川会場 | ③ 2/13 青森会場 |
| ② 3/8 札幌会場 | ④ 2/20 宮城会場 |
| ⑦ 2/15 長野会場 | ⑤ 2/19 茨城会場 |
| ⑧ 2/22 静岡会場 | ⑥ 3/13 東京会場 |
| ⑨ 2/5 愛知会場 | ⑩ 1/22 大阪会場 |
| ⑪ 1/17 福岡会場 | ⑫ 1/18 鹿児島会場 |

クレーム対応セミナー (WEB開催)

日本サッシ協会の会員企業を対象に、「クレーム対応セミナー」を開催します。クレームへの初期対応や法的対応などをさまざまな事象、事例を元に業界に精通する光風法律事務所の弁護士がわかりやすく解説。2009年度にはじまったこのセミナーは、より多くの方へ届けるために2021年度からはWEB開催へ変更、今では毎年800名を超える方が聴講しています。今年度は7月と11月の2回開催予定です。日本サッシ協会CS管理部会までお申込みください。

クレームへの対応方法を学べます

- ・クレームへの初期対応や法的対応など
- ・年2回(7月、11月)開催予定

point

- ・これまで15年間開催! ・受講料無料
- ・WEBでの開催により毎年800名超が参加!
- ・業界を知る弁護士がわかりやすく解説! etc.



1. 団体の活動紹介

日本サッシ協会の事業活動について 【ビルサッシ委員会 資格認定試験】

積算資格認定試験

積算資格認定試験は、日本サッシ協会オフィシャルの資格制度として2001年より20年以上にわたり実施している認定試験です。受験対象者はビル物件における金属製建具・カーテンウォールの仕事に関するすべての人たちで、これまで4,000名以上がこの資格を取得し、業務に役立てています。2024年度より、流通幹事会員企業にもご案内いたしております。



積算資格認定試験の目的

積算資格を取得して
契約適正化を推進する

1

積算知識・技能のほか、必要な基礎知識・情報の習得を促し、自覚と責任感をもたせる。

2

業績改善に貢献できる人材の育成を図り、さらなる業界認定の評価を確立する。



1. 団体の活動紹介

日本サッシ協会の事業活動について

特定技能制度「金属製サッシ・ドア製造業」の申請開始

特定技能制度に新業種「金属製サッシ・ドア製造業」が追加されました。
会員企業の皆様の生産性向上のための制度活用について紹介いたします。

特定技能制度への申請がスタート

日本サッシ協会は、皆様が「特定技能制度」を活用できるよう金属製サッシ・ドア製造業の対象職種認定を目指して活動してまいりました。経済産業省、会員企業の皆様の協力もあり、2024年3月29日の閣議にて「金属製サッシ・ドア製造業」の追加が決定がされ、その後、9月30日に告示公表、10月1日より申請が可能になりました。

特定技能制度を活用して外国人材を受け入れるには、各社事業所ごとに「製造業特定技能外国人材 受入れ協議・連絡会」へ加入しなければなりません。経済産業省の「特定技能外国人材制度ポータルサイト」から申請しましょう。

皆様の生産性向上や働きやすい環境づくりを推し進められるよう日本サッシ協会も多様なサポートを実施予定です。

閣議決定の概要

- 分野名を「工業製品製造業分野」と変更したうえで、新たな業種・業務区分を追加する閣議決定を行いました。（令和6年3月29日）。

※新業種での受入れ開始時期については、規定等を調整の上、決まり次第HPにてお知らせします。

	R1～R5年度	R6～R10年度
分野名	素材材・産業機械・電気電子情報関連製造業分野	工業製品製造業分野
受入れ見込数	49,750人	173,300人
業種	○素材材産業 ○産業機械製造業 ○電気・電子情報関連産業 ○金属表面処理業	○素材材産業 ○産業機械製造業 ○電気・電子情報関連産業 ○金属表面処理業 ○鉄鋼業 ○金属製サッシ・ドア製造業 ○プラスチック製品製造業 ○紙・紙パルプ製造業 ○コンクリート製品製造業 ○陶磁器製品製造業 ○繊維業 ※追加要件を決定する（詳細は次頁） ○金属製品製造業 ○R.P.F.製造業 ○印刷・同梱業 ※全日本印刷工業組合連合会、全国グラフィック同業連合会、全日本製本工業組合連合会いずれかに加盟していることを要件とする ○こんぱる業 ※全日本製本工業組合連合会に加盟していることを要件とする
業務区分	機械金属加工 電気電子機器組立て 金属表面処理 全3区分	機械金属加工、電気電子機器組立て、金属表面処理、紙・紙パルプ製造、コンクリート製品製造、陶磁器製品製造、繊維製品製造、印刷・製本 全10区分

追加
されました!

出典：経済産業省「製造業分野の特定技能制度について」（2024年3月）より

セミナー開催などさまざまなかたちでサポート

特定技能制度の受け入れに興味をもつ会員の皆様へ向け、2024年夏、日本サッシ協会は「外国人雇用基礎知識セミナー」と「特定技能制度実践セミナー」のふたつのオンラインセミナーを実施しました。

基礎知識セミナーでは、協会会員の外国人雇用状況や外国人雇用の基本、特定技能制度の基礎知識を解説しました。実践セミナーはより具体的な内容を盛り込んで、特定技能制度の説明や申請に必要な準備などを解説。今後、外国人雇用制度の見直しが予定されており、日本サッシ協会からも各種情報を提供していきます。

ト



「外国人雇用基礎知識セミナー」と「特定技能制度実践セミナー」の開催を知らせるチラシ。今後も継続して開催する予定だ

「快適な住まい情報室」 設立 記者発表会

災害級の猛暑から命を守る！
窓から始まる「快適な住まい」への挑戦



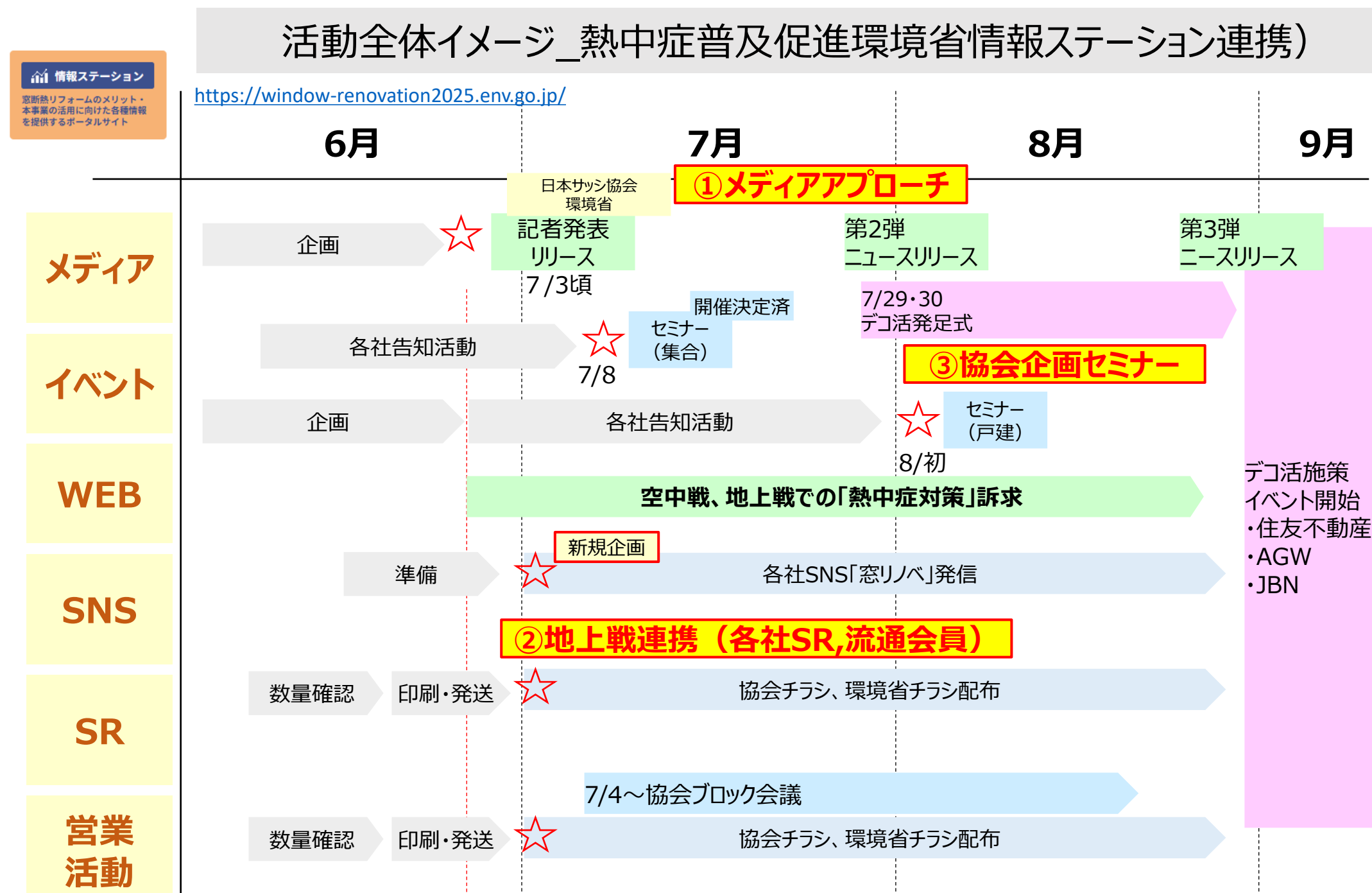
一般社団法人

日本サッシ協会

Japan Sash Manufacturers Association

1. 団体の活動紹介

先進的窓リノベ2025事業についての活動



1. 団体の活動紹介

先進的窓リノベ2025事業についての活動【①メディアアプローチ：7月3日 記者会見】

当日の進行

メディア42社参加
(リアル22社、WEB20社)

1. 会員企業4社挨拶

三協立山：平能 正三 様、不二サッシ：執行役員／営業本部長 野田 朋宏 様、
LIXIL 常務役員 サッシ・ドア事業長 小林 智 様、YKK AP:常務執行役員渉外部長 杉本 敦 様

2. 主催者挨拶・「快適な住まい情報室」設立趣旨説明

一般社団法人 日本サッシ協会 理事長 平能 正三 様

3. 来賓挨拶

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 住宅・建築物脱炭素化事業推進室 室長 寺井 徹 様

4. 災害級の猛暑から命を守る！自宅の熱中症対策

一般社団法人 日本サッシ協会 事務局長「快適な住まい情報室」室長 山本 英司 様

5. 質疑応答

6. フォトセッション

◆リリース①

三協立山、不二サッシ、LIXIL、YKK APが一堂に集結
熱中症対策をはじめとした情報発信を目的とした
「快適な住まい情報室」設立を発表

◆リリース②

<日本サッシ協会 快適な住まい情報室>
災害級の猛暑から命を守る！自宅の熱中症対策
～窓リノベによる快適な住まい実現提案～

今後の予定

8月：テーマ案「睡眠障害」

9月：テーマ案「ペットと暮らす」

10月：テーマ案「窓断熱リフォームユーザー調査結果」



1. 団体の活動紹介

先進的窓リノベ2025事業についての活動 【②地上戦略：公的チラシの活用促進】

- 流通店様や各SRにて施主への営業に活用してもらう。
- サッシ協会作成のリーフレットの他に建開協・環境省のチラシ、と合わせて活用することで相乗効果を図る。
- 協会リーフレットは「制度の背景と意義」、環境省チラシは「信頼感と納得感」、各社チラシは「具体性と行動促進」の役割

サッシ協会 リーフレット



建開協 リーフレット



環境省 リーフレット



東京都 リーフレット



■全国206拠点へ発送（7月22日）

配布拠点		
各社ショールーム	LIXIL	77拠点
	YKK AP	21拠点
	三協立山	5拠点
日本サッシ協会 流通幹事会員		103社

1. 団体の活動紹介

日本サッシ協会の事業活動について 【防犯対策委員会】

住宅に押し入る侵入強盗等の社会課題に対し、住宅事業者に向けた住宅防犯知識の普及に向け、「防犯設計ハンドブック」を新たに発行しました。

◆防犯設計ハンドブック <戸建て住宅編> 内容

- 第1章 住宅犯罪を考える・・・(8 ページ)
- ・侵入盗の発生状況や狙われやすい住環境
- 第2章 立地環境別防犯対策のポイント・・・(16 ページ)
- ・侵入盗被害想定を読み方
 - ・住宅の立地環境別被害想定
- 第3章 防犯環境プランニング・・・(39 ページ)
- ・防犯環境の基本的な考え方とポイント
 - ・境界対策、敷地対策、建物対策
 - ・防犯に対する心がけ
 - ・CP 製品の紹介・・・(5 ページ)
 - ・防犯に役立つ植栽一覧・・・(2 ページ) 計 75 ページ



◆5月13日「防犯の日」に業界誌向けへの発刊説明会を開催。

建材・サッシ系業界誌に「防犯設計ハンドブック」発刊の記事を掲載いただきました。

1. 団体の活動紹介

日本サッシ協会の事業活動について 【住宅サッシ委員会】

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表（住宅用窓の簡易的評価による）改訂 「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表（住宅用ドアの簡易的評価による）改訂

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率（建具の仕様とガラス性能から算出）

■大部分がガラスで構成されている窓等の開口部

建具の仕様	ガラスの仕様		中空層の仕様		開口部の熱貫流率 [W/(㎡K)]※2			
			ガスの封入※1	中空層の厚さ	付属部材 無し	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室 あり
樹脂製建具 又は 木製建具	三層複層ガラス	Low-Eガラス 2 枚	されている	13mm以上	1.60	1.49	1.43	1.38
				10mm以上13mm未満	1.70	1.58	1.51	1.46
				7mm以上10mm未満	1.90	1.75	1.66	1.60
				7mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77
			されていない	13mm以上※4	1.70	1.58	1.51	1.46
				9mm以上13mm未満	1.90	1.75	1.66	1.60
			されていない	7mm以上9mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77
				7mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
		Low-Eガラス 1 枚	されている	10mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60
				10mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77
			されていない	13mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60
				9mm以上13mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77
				7mm以上9mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
				7mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
		一般ガラス	されていない	12mm以上	2.33	2.11	1.99	1.89
				12mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
	複層ガラス	Low-Eガラス	されている	10mm以上	2.15	1.96	1.86	1.77
				8mm以上10mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
				8mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
			されていない	14mm以上	2.15	1.96	1.86	1.77
				11mm以上14mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
				11mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
		一般ガラス	されていない	13mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26
				13mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59
	単板ガラス	—	—	—	6.51	5.23	4.76	3.95
樹脂（又は木） と金属の複合 材料製建具	三層複層ガラス	Low-Eガラス 2 枚	されている	12mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60
				8mm以上12mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77
				8mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
			されていない	16mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60
				10mm以上16mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77
				8mm以上10mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
		Low-Eガラス 1 枚	されている	12mm以上	2.15	1.96	1.86	1.77
				9mm以上12mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
				9mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
			されていない	16mm以上	2.15	1.96	1.86	1.77
				12mm以上16mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
				12mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
	一般ガラス	されていない	されていない	7mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26
				7mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59
				7mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59
		Low-Eガラス	されている	14mm以上	2.33	2.11	1.99	1.89
				14mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
				9mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26
	複層ガラス	Low-Eガラス	されていない	9mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59
				11mm以上	3.49	3.04	2.82	2.59
				11mm未満	4.07	3.49	3.34	3.00
		一般ガラス	されていない	14mm以上	2.33	2.11	1.99	1.89
				14mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26
				9mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26
金属製 熱断熱構造	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33
			ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33
		金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	10mm以上	2.33
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	10mm未満	2.91
			ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	14mm以上	2.33
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	14mm未満	2.91
	金属製 パニカム ブラッシュ構造	ボストなし	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	10mm以上	2.33
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	10mm未満	2.91
		ボストあり	ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	14mm以上	2.33
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	14mm未満	2.91
金属製 熱断熱構造	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33
			ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33
		金属製 パニカム ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	10mm以上	2.33
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	10mm未満	2.91
			ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	14mm以上	2.33
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	14mm未満	2.91
	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33
		ボストあり	ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	—
				ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90
				ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33

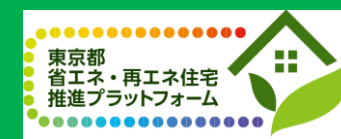
「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率（建具の仕様とガラス性能から算出）

■大部分がガラスで構成されていないドア等の開口部（2 ロック、握込み錠）

（開閉付のドア、袖付のドア、開閉付の引戸、袖付きの引戸には適用できません）

種の仕様	戸の仕様			ガラスの仕様	中空層の仕様		開口部の熱貫流率 [W/(㎡K)]※2	
					ガスの封入※1	中空層の厚さ	付属部材無し	風除室あり
金属製 熱断熱構造	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33	1.89
		ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33	1.89
	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	10mm以上	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	10mm未満	2.91	2.26
		ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	14mm以上	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	14mm未満	2.91	2.26
	金属製 パニカム ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	10mm以上	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	10mm未満	2.91	2.26
		ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	14mm以上	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	14mm未満	2.91	2.26
金属製 熱断熱構造	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33	1.89
		ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33	1.89
	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	10mm以上	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	10mm未満	2.91	2.26
		ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	14mm以上	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	14mm未満	2.91	2.26
	金属製 熱断熱構造 ブラッシュ構造	ボストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33	1.89
		ボストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	複層ガラス	されていない	7mm未満	2.33	1.89

1. 団体の活動紹介



一般社団法人

日本サッシ協会

Japan Sash Manufacturers Association